

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年4月1日

事業所名 リトル☆スター

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	2	職員の配置数は適切である	4				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1			保護者等の意向を踏まえ、業務改善につながるように、職員間で取り組んでいきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4		第三者による外部評価は現在受けてないため、今後法人内部で検討をしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	3			年間研修計画を作成し、内部、外部の研修に職員全員が参加するように推進していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			個別計画案・評価など担当制にしている	計画案を作成し、モニタリング会議を職員全体で実施していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1			新しい活動プログラムにも取り組んでいきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2		事前に計画を立てることで利用者の行事に偏りがないようにしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			随時、会議を行い、子どもの状況把握に努め計画に反映させるようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1			管理者が記録を確認し、共有できるような記録になるよう努めています。また、正しい記録が作成できるよう、事業所内で研修を行います。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4				

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		4			利用者が中高生の為、児童相談支援事業所等の情 報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	3	1			相談支援事業所等を通じて支援内容の情報を提供す るようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	2	1	1	山田病院リハビリ テーション科職員か ら専門的な助言を受 けている。	協力病院である山田病院の小児リハビリテーション科 の職員と連携を図りながら、専門的な視点からの助言 を受けるようにします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	4				北方きた子ども館の子どもたちと交流する機会を設け ています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		3	1		自立支援協議会への参加の機会があれば積極的に 参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	3	1			お迎え時にリトル☆スターや学校での様子を保護者 にお伝えし、共通理解ができるようにしていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	1	2	1		今後、保護者への支援ができるよう、研修会に積極的 に参加するなどして専門性を向上させていきます。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3	1			契約時等に丁寧に説明ができるよう取り組んでいきま す。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	3	1		保護者の話に耳を傾 け、出来る限りの助 言をしている	職員だけでの知識経験だけでは十分でない場合に は、山田病院リハビリテーション科の職員に相談し、 必要な助言をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		1	3		保護者会を開催できませんでした。働く保護者の事も 考えると、年度計画の中に入れる必要があると考えて います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	3	1			苦情があれば、苦情解決責任者が速やかに対応し、 職員間で共通理解をして、再発防止に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4				
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	2	2			今後検討していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	3	1			再度周知徹底に努めます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	4				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	4				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	2	2			原則身体拘束は行いません。やむをえず身体拘束を 行わなくてはならない利用者の対応については、主治 医、相談事業所等関係機関と連携し、期間を定め、本 人や保護者に十分な説明を行うとともに、必要な事項 を記録します。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている		4			おやつ等の買い物の際には、アレルギーのある子ど もについては、職員が原材料等内容を確認するよう にします。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	4				